

今、見直される家庭教育とその役割

家庭教育は、家族とのふれあいを通じ、[生きる力]の基礎的な資質や能力を育成するものであり、すべての教育の出発点です。

しかしながら、近年、本来家庭教育の役割であると考えられるものまで学校に委ねようとする傾向があることが指摘されています。また、無責任な放任や過保護・過干渉が見られたり、モラルの低下が生じたりするなど、家庭教育力の低下も指摘されています。

こうした状況であるからこそ、家庭教育の果たすべき役割を見つめ直すとともに、家庭教育を支えていくことが重要だと考えます。

1 子供の〔生きる力〕の基礎的な資質や能力を培います

- 基本的な生活習慣や生活能力
- 豊かな情操
- 他人に対する思いやり
- 善悪の判断
- 社会的なマナー
- 自制心や自立心 など

2 家庭教育の例と、子供の変容

- 子供の居場所をつくること → 子供の心の安定化
- 子供を見守ること → 愛着が深まる・自己肯定感向上
- 生活リズムをつくること → 体の調子を整え、集中力アップ
- 家族ひれあうこと → コミュニケーション能力の向上
- 一緒に遊ぶ・体験すること → 想像力や思考力の向上 など

社会全体で、家庭教育を支えるために

家庭における教育は、本来すべて家庭の責任に委ねられており、それぞれの価値観やスタイルに基づいて行われるべきものです。しかし、社会状況が急速に変化し、核家族化や地域の人間関係の希薄化等により、家庭や地域における子育て環境も変わっている状況の中、子供たちを健やかに育てていくためには、個々の親だけでなく、学校・家庭・地域社会・企業・行政機関等が力を合わせ、社会全体で家庭教育を支えることが求められています。子供たちの〔生きる力〕を育むには、子供の成長のそれぞれの段階に応じた親としての関わりが重要であるため、保護者への家庭教育に関する学習機会を一層充実させることが必要です。また、保護者が安心して子育てできるように保護者に寄り添った相談等のサポートや子供を育てる家庭への支援なども欠かせません。そこで、家庭教育を支えるために、多様な主体が以下のような取組を行っています。

1 家庭教育の充実につながる学校・保育園・幼稚園等の取組



(1) 家庭教育に関する学習機会の充実(地域人材や行政機関等との連携)

専門的な知識や技能を有する地域の家庭教育支援活動者や行政機関等と連携することで、家庭教育に関する学習機会の充実が図れます。

(2) 親子の共同体験の機会の充実(企業等との連携)

親と子が同じ体験を持つことは親のものの見方、子供の考え方をお互いが知り合う上で、また、同じ価値観を共有する上で、非常に有効です。また、これを機に親子のきずなが一層深まることが期待されます。

地域への貢献活動に力を注ぐ企業等と連携することで、親子の共同体験の充実が図れます。



2 河内管内の家庭教育の充実につながる家庭教育支援活動者の取組

(1) 家庭教育支援オピニオンリーダーの取組

家庭教育オピニオンリーダー-宇都宮支部、上三川支部に所属するメンバーが、親子活動をとおりて季節の行事等を学んだり、童謡を歌ったりする機会などを提供しています。



(2) パフォーマンス団体「ウタウ☆カイゾクダンッ！」の取組

2025年に結成20周年を迎えた「ウタウ☆カイゾクダンッ！」は、これまでに県内1500ヶ所以上でコンサートを開催しています。歌やダンス等のエネルギッシュなステージパフォーマンスで、子育てに励む保護者とその子どもを応援しています。



2 河内管内の家庭教育の充実につながる家庭教育支援活動者の取組

(3) 家庭教育支援ボランティアの取組

ボランティアとして宇都宮市の家庭教育支援チームに所属するメンバーが、家庭教育に関する出前講座を実施しています。また、家庭訪問や公共施設での相談により、家庭教育に関する情報を提供したり、状況に応じたアドバイスをしたりしています。



3 家庭教育の充実につながる行政機関の取組

(1) 家庭教育に関する出前講座の実施

県・市町教育委員会が、就学時健康診断などで生活習慣や自己肯定感などに関する出前講座を実施しています。思春期を迎える年代と言われる中学生の保護者を対象に、中学校の保護者会や図書館の家庭教育セミナーなども実施しています。

(2) 家庭教育支援者の資質向上を図る研修の開催

県教育委員会では、地域で活躍する家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育支援プログラム指導者の養成を図るために、研修を開催しています。また、これらの研修修了者の更なる資質向上を目指した研修も開催しています。

(3) 子育て支援の実施

宇都宮市子ども部や上三川町子ども家庭課では、子どもを育てる家庭をサポートするために様々なサービスやプログラムを提供しています。

- 育児相談
- 保育サービス
- 親子交流イベント
- 経済的支援 等

4 家庭教育支援の更なる推進を目指す「ふれあい学習推進会議」

今年度、河内教育事務所では「家庭教育支援の推進」をテーマに、「河内地区ふれあい学習推進会議」を開催いたしました。管内において家庭教育を支えるために、本紙で紹介した様々な活動に取り組んでいる皆様に会議に出席していただきました。管内の家庭教育支援・子育て支援の更なる推進に向け、様々な立場の出席者が多様な視点からの意見を出し合い、活発な協議を行いました。



目的

管内の家庭教育支援を充実させるため、家庭教育に関する課題を明らかにし、その解消に向けた協議を行い、解消に向けた取組を企画・立案する。

出席者

【行政職員】宇都宮市教育委員会生涯学習課係長
上三川町教育委員会生涯学習課長補佐
宇都宮市子ども部子ども政策課係長
上三川町子ども家庭課係長
【家庭教育・子育て支援活動者】
家庭教育オピニオンリーダー
宇都宮副支部長・上三川支部長
ウタウ☆カインソクダンッ！せんちょー。
【教育機関職員】宇都宮保育園長・上三川保育園長

内容

ビジョンの確認

取組の現状に関する情報交換

課題の明確化

課題を解消するために必要な具体的な手立ての企画・立案

成果

- 多様な視点からの意見交換により、推進委員はその視野を広げることができた。
- 日々の活動は違っても、育てたい子供像や望ましい子育て環境について共通のビジョンを持っていることを確認できた。
- 取組の現状に関する情報交換により、取組を上手くいかせるためのコツを確認するとともに、取組の価値を再認識することができた。
- 各分野とも共通して認識している課題を共有することができた。
- 課題を解消するために、それぞれの立場でできる具体的な手立てを考えた。
- 推進委員同士の関係が構築され、新たな支援の開始に結びつけることができた。



家庭教育はこれからの未来を支える子供たちへの大切な贈り物です。そして、子供を育てることは、未来の日本を支える人材を育てる重要な営みです。

河内教育事務所は、社会全体で家庭教育を支える仕組みづくりを推進しています。